

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日生(歳)	男 女
住 所		
① 障害名(部位を明記)		
② 原因となった 疾病・外傷名		交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他()
③ 疾病・外傷発生年月日 年 月 日・場所		
④ 参考となる経過・現症(エックス線写真及び検査所見を含む。)		
障害固定又は障害確定(推定) 年 月 日		
⑤ 総合所見		
〔将来再認定 要 (軽度化・重度化) ・ 不要 〕 〔再認定の時期 年 月〕		
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する(級相当) ・該当しない		
注 意	1 障害名には現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 肢体不自由のある者の場合は、全ての肢体不自由について記入してください。 3 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、歯科医師による診断書・意見書(様式第2号 別紙2(その2))を添付してください。 4 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分についてお問合せをする場合があります	

1 身体計測

2 活動能力の程度

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることもある。

エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

ア 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)

イ 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)

ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)

工 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)

才 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)

力 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換氣機能 (年 月 日)

ア 予測肺活量 . L (実測肺活量 . L)

イ 1 秒 量 , L (実測努力肺活量 , L)

ウ 予測肺活量1秒率 $\%$ ($=\frac{1}{A} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長}(\text{cm}) - 0.023 \times \text{年齡}(\text{歲}) - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長}(\text{cm}) - 0.018 \times \text{年齡}(\text{歲}) - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日) 酸素吸入の有無 (有 ℓ / 分 ・ 無)

ア O₂ 分 圧: Torr

イ CO₂分圧: ・ Torr

ウ pH : ・

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合：〔 〕

6 その他の臨床所見